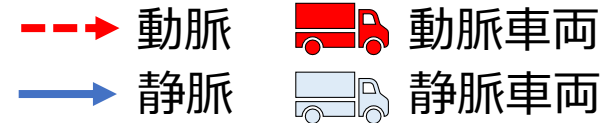


スマート資源循環WGの概要

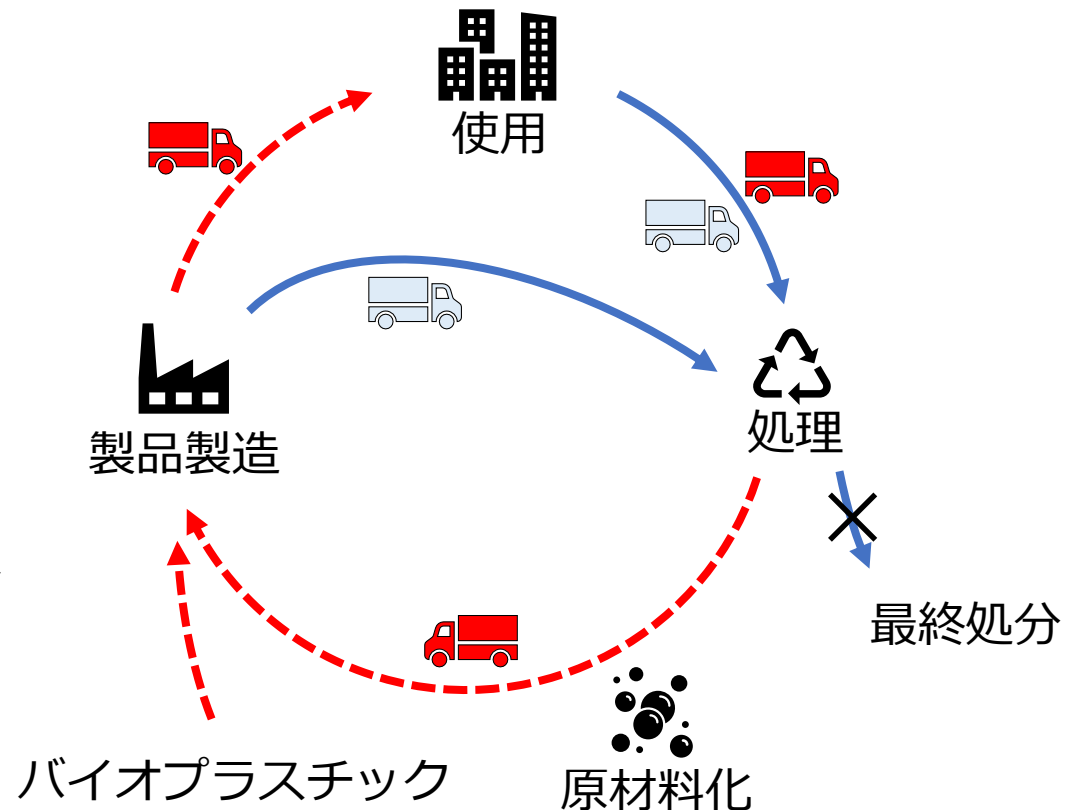
環境性（3R + Renewable）と経済合理性が両立した、新たな**資源循環ビジネスモデル**の提案・事業化を目指す

今回のテーマ：プラスチック資源循環



キーワード

- ◆ 動静脈連携（戻り便の活用、共同物流等）によるコスト効率向上（人件費、廃棄物委託費の削減）
- ◆ サプライチェーン全体を通じた資源回収・リサイクルの促進
- ◆ プラスチックライフサイクル全体でのCO₂排出抑制
- ◆ 新規環境配慮型製品の需要分析及び需要開拓



スマート資源循環WGの具体的な進め方

<ゴール>

プラットフォーム会員から多様なアイデアを募り、新しいプロジェクトの創発及びプロジェクトを実行するメンバーシップを構築。
補助金への申請を行い、事業の具体化を目指す。

<進め方のイメージ>



参考：スマート資源循環WG設立の背景 (プラスチックを取り巻く状況)

プラスチックは、私たちの生活に深く浸透し、多くの利便性と恩恵をもたらしている一方・・・

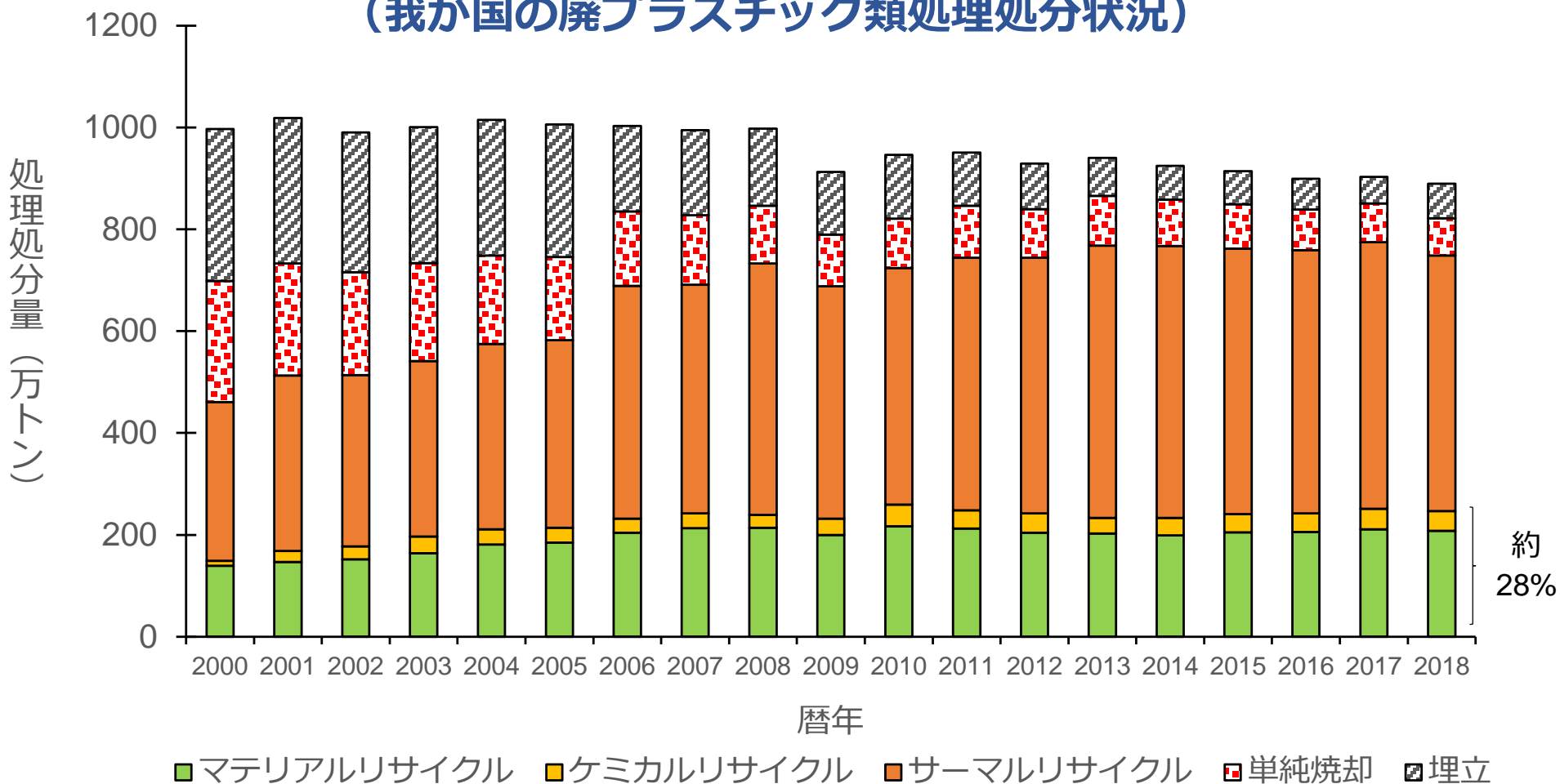
プラスチックごみは、地球規模の環境問題の一因となっている
(海洋汚染、焼却に伴う温室効果ガス排出など)

プラスチックごみを取り巻く諸問題と対策

- 工場・事業所からの廃プラスチック類の3Rの問題
 - ・プラスチックごみの排出抑制
 - ・マテリアル・ケミカルリサイクルの一層の推進
 - ・外国政府による廃棄物の輸入規制を受けた国内での資源循環体制の整備 など
- 使い捨てプラスチックの問題
 - ・過剰なプラスチックの使用を削減
 - ・プラスチック代替製品の普及拡大 など
- 海洋プラスチックごみの問題
 - ・海岸漂着物等の発生抑制対策
 - ・回収・リサイクル時のコスト低減 など

参考：スマート資源循環WG設立の背景

(我が国の廃プラスチック類処理処分状況)



再生利用率（マテリアル・ケミカルリサイクル）は約3割（2018）にとどまっている